

おだか



南相馬市小高区4小学校
学校便り
第 25 号
2017. 11. 2

読書のすすめ

スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋といわれるように、何をするにも絶好の季節となりました。本校は今、読書月間に入っています。「読書は知識と創造力の泉である」といわれております。文化の日もあり、子どもたちに読書に親しんでもらいたいと思っています。どうして読書を勧めるのかと言いますと、それは、本に語りかけると本は読み手に誠実にこたえてくれるからです。このように考えますと、読書は心から信頼できる親友のようなものかもしれません。読書とは私たちにとって一体どのような意味を持つものなのか、今一度家族で考えてみていただきたいと思います。

一つめは、本を読むことによってまだ見ぬ人々や出来事、さらには様々な考え方に触れることができます。作者や登場人物に直接会って話をしなくても、本の中で時代や民族や場所を越えて話しかけることができるのです。本はテレビや映画の世界とは違う、文字の世界です。絵や映像の世界を超えた、文字の世界に飛び込んでみないことには、そのすばらしさは分かりません。そして、本の中で、素晴らしい人物の生き方に出会ったり、遠い世界を近くに引き寄せたり、一つの言葉が突然光り輝いたりして、自分が新しい世界の扉をまた一つ開けたことを知ります。こんな時、心の底から本との出会いに感謝するものです。

二つめは、読書することで静かな心を取り戻し、静かにものを考えることができます。今の世の中は忙しすぎます。何が本物で何がニセモノなのか分からないことが多すぎるように思います。このような中で、自分を取り戻すことができるのが読書です。そして、作者(他人)の考えを通して自分の考えを広め、深めていくのが読書の本当の楽しみなのです。

本の世界は、本の扉を開かない限り語りかけてはくれません。勇気を持って本の扉を開いてほしいと思います。そして、本の世界の素晴らしい人々や出来事に出会う喜びを体験することによって、きっと今までと違う新しい自分を発見できると思います。



弾道ミサイル発射時の対応について

過日、南相馬市教育委員会より「弾道ミサイル発射時の対応及び臨時休業等の対応について」の文書を配付いたしました。学校でも不測の事態に備え、対応マニュアルを整備し、児童に指導するとともに、安全な生活に万全を期すよう配慮いたしております。万が一、登校中にミサイル着弾等の連絡が入り、学校生活に影響を及ぼすと判断した場合、学校より児童引き渡しの可能性があります。原則として、緊急メールシステムで連絡いたしますが、システムの不具合も予想されます。着弾してから30分程度以内に、学校より連絡が入らない場合、児童引き渡しとなり、ご来校いただくこととなります。ご家庭でも、緊急時の対応等について、話題に出していただければ幸いです。

第2回 朝食について見直そう週間運動について

- 平成29年11月6日(月)～10日(金)の期間の朝食摂取調査を実施します。ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。なお、前回(6月実施)の朝食摂取率調査については、96.7%の児童が朝食を食べて登校していました。

